

「課題名：脳腫瘍患者の長期追跡に基づく臨床像と転帰の検討」について

○ 研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴

○ 研究の意義・目的

一言で脳腫瘍といっても非常に多くの種類を持つことが最近の研究でわかってきました。脳腫瘍の遺伝子解析も始まり、手術だけでなく、化学療法や免疫療法も含めたたくさんの治療方法の開発が進んでいます。当院では広島県のみならず中四国の脳腫瘍治療の中心として役割を担っており、これまで多くの患者さんをご紹介頂き、治療してきました。今回、そのたくさんの患者さんから蓄積させて頂きましたデータを解析し、脳腫瘍、中でも予後の悪い悪性脳腫瘍についても、臨床像と治療経過を明らかにしていきたいと考えています。当院では遺伝子パネルという遺伝子診療のエキスパートの先生とも相談する機会を設けており、治療方針を相談したりしています。蓄積したデータと遺伝子解析を照らし合わせ、最新のデータと照らし合わせながら過去、現在、そして未来の患者の皆様の治療経過を解析することで、脳腫瘍という未だブラックボックスの多い分野において新しい知見を得ることを目的としています。また解析結果から化学療法やその他の治療開発につながる可能性があります。

○ 研究対象者

1985年1月1日から2035年12月31日までに、広島大学病院脳神経外科にご紹介頂きました脳腫瘍あるいは脳腫瘍疑いの患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、MRI/CT、血液検査、手術所見、病理所見、手術合併症、治療内容（化学療法等）、化学療法中などにおける合併症や副反応、予後のデータです。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 倫理審査委員会承認後～ 2035年12月31日

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5227

広島大学病院脳神経外科 講師 山崎 文之